



祝 創立50周年 記念式典 を終えて

同窓会長 久保村 昭 衛

まり、立派な慶事にするべく細部にわたって話し合いを行ないました。

特に主要役員の方々には、今年になってからは自分の会社業務もそこそこにして此の慶事に全力を投入して戴いたことに對し、同窓会を代表して心より感謝致し御礼申し上げる次第です。

式典終了後、午後一時より、新宿小田急ハルク《豪華》にて祝賀会が開催され、三百名を超える来賓をお迎えした盛大かつ和やかな祝宴でありました。私は実行委員長として大略左記のようにご挨拶申し上げます。

「本日は公私共に御多忙の処、本校創立五十周年記念式典・祝賀会にご出席賜り厚く御礼申し上げます。式典が厳肅に行なえましたのは本日ご出席の皆様のお陰と関係者一同深く感謝申し上げます。次第であります。次の世代を担う人間性豊かな逞しい生徒の育成と地域の発展に役立つよう努力を尽くして参ります。今後とも本校の充実発展の為、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。」

後日文部省に出向き、来賓の文部事務次官にご挨拶かたがた母校の今後の発展をお願いして参りました。職業高校は普通高校と異なり、実習時間が多く一般教養の時間が少ないため、大学入試に際しては大きなハンデキャップがある。職業高校からの進学希望学生に対しては推薦枠を広げ、大

学の課程で一般教養を補充する様な教育方針を検討する事を重々お願いして参り、次官もその主旨に賛同されました。

同窓会はこの五十周年行事で大変力強い大きな輪が出来ました。此の人の輪がこれからの母校の発展に大きな力を發揮していけたらと思っております。特に次の大きな目標として清里寮の財団法人化があります。清里寮につきましては十年前から同窓会で引き継ぎ、その運営に努力して参り、学校の先生がたにも前向きなご感心を抱いて戴けるようになったのではないかと思います。この目的の成就を目指してどうか八千人の同窓生諸君には一声だけでも良いからぜひ応援して下さい。そして我々の清里寮が鉄筋造りの雄容に生まれ変わることを想像して下さい。

平成五年スタートした総合技術科制は画期的な学制改革と評価を受け順調に運営されているように喜ばしい限りです。校内の三本の樺は美しく成長し、その偉容は天を指しております。学校、PTA、PTA・OB、同窓会、この四者が相ともに手を携えて発展して行こうではありませんか。



▶ 記念祝賀会―冒頭にて、実行委員長として挨拶する会長

平成七年六月三日、母校都立中野工業高等学校がめでたく創立五十周年を迎え、中野区立ゼロホールにて、八百人もの大勢の来賓・学校関係者の皆様をお迎えして、厳肅に記念式典が出来ました。実行委員長に私が任ぜられ、母校の名譽のためにと文部省の事務次官閣下を迎え大輪の花を添えたお祝が出来ました。

この五十周年祝賀につき、

同窓会役員の皆様は四年間に亘り何回となく母校に集



新しい工業高校づくりを目指して



校長 小林 一 夫

も変わってきました。それに対応して、教育目標も、生徒一人一人の個性と適性を尊重し生かすことをねらいとした「スペシャリストの育成！」へと変わって参りました。本校が総合技術科に衣替えしましたのも、こういった新しい工業高校づくりを目指したためです。

三年がかりで準備してきた、創立五十周年記念行事も無事終えることが出来ました。式典、祝賀会ともに予想以上の出来映えで、来賓の皆様方からも大変お褒めを頂きました。さらに口コミで多くの学校関係者にそのことが伝わり、中工の評価を高めたようです。全面的にご支援ご協力を下さった同窓会の皆様方に心より御礼申し上げます。私どもは創立五十周年を機会に、更によりよい中工作りを目指して頑張っていく積もりですので今後とも宜しくお願い致します。

さてここで最近の工業高校の状況について少しお話ししたいと思います。ひと昔前までの、工業高校の教育目標は「中堅技術者の育成！」でした。しかし、近年、様々な社会状況の変化、科学産業技術の進歩発展、生活意識の変化などによって、工業高校のあり方

また、最近の一般的傾向として、工業高校生の間にも大学進学希望者が増えてきております。本校でもその対応策として進学コースを作ったわけですが、様々な理由により未だ成果を上げるに至っていません。その理由の一つとして、専門科目を多く学ぶ関係で一般入学試験ではハンデになっていることが上げられます。いま、その対応策として、大学への推薦入学枠の拡大を求める運動を展開してるところです。

文部省でも色々とお心遣いしてくれてはいるのですが、様々な問題があり、そう簡単に実現できそうにもありません。しかし我々は、根気強くその現実に向けて努力を続けていくつもりです。

ところで、先般、久保村会長と二人で、文部事務次官のところへ五十周年記念式典出席の御礼挨拶に行つて参りました。その折に会長から、推薦入学制度早期導入のお願いをしてもらいました。さらにその足で環境庁に廻り、

宮下環境庁長官にも同様のお願いをしていただきました。我々の立場では、このような機会はありませんので、本当に有り難いことでした。久保村会長の顔の広さに今更ながら驚かされますが、私どもにとつては本当に頼りになります。

本校を心から愛してくれる同窓生がたくさんいるということは、中工のみならず工業高校全体にとつても幸せなことです。同窓生の皆様方には、今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。

創立五十周年に思う



論 川 美 智 子
教 新

保村会長以下多数の会員の方々、並びに、野崎文部事務次官をはじめ二百余名のご来賓のご参加をいただき、記念すべき式典がおこなわれました。

校歌にもうたわれているように、「英知と技術」を修め、「純白の作業衣」に夢ふくらませ、「友情は美しく変りなく」たゆまぬ歩みを誓い、この学び舎に競いあつた八千数百名の会員の方々の、一人一人の青春の集積、その大きな流れを感じさせられた一日でした。

この記念すべき日を迎えるまでの計画立案から運営まで、学校はもちろんのこと、同窓会、PTAの方々のお骨折りは大変なものがあつたようです。その心苦ごと努力には感謝の念を禁じえません。

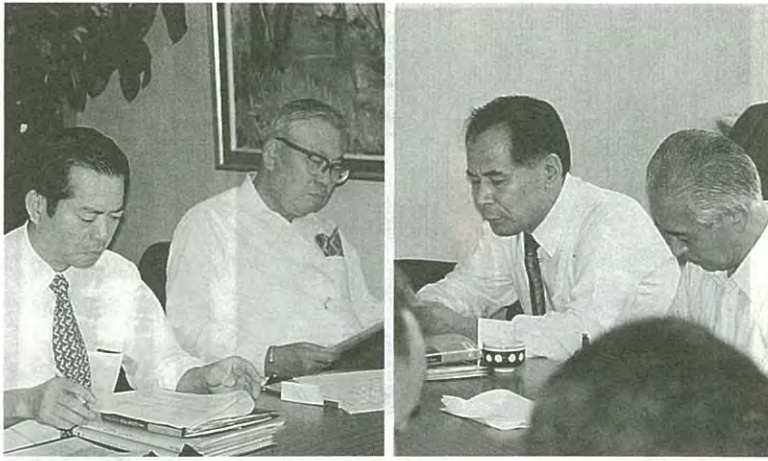
歴史は古いという事のみには価値があるのではない。長い時間の経過の中で、多くの生徒がこの学校に育ち、心をつにして伝統をつくり上げ、受け継いできたという事に深い意味があるのだと思います。教職員と生徒が、この学校で何を目指し努力してきたかを、今問い直すのに格好の時ではないでしょうか。

いたずらに過去にとらわれることなく、五十年の歴史の中から、価値あるものを受け継ぎ、新しい時代に向けて創造していく事が私達の使命であろう。同窓会の皆様には、これからも暖かく見守り励まして下さるようお願い申し上げます。(新川先生は、普通科保健体育を担当されています。)

平成七年六月三日。第一回卒業の久

平成七年度代議員総会開催さる

平成七年七月三十日(日)母校会議室に於て、同窓会代議員総会が開催されました。本年の代議員総会は、母校創立五十周年記念行事が、六月三日に催された為、通常より約二ヶ月程遅れて開く事になりました。当日は会長以下百十名(委任状を含む)が出席いたしました。



開会宣言の後、会長の挨拶では、特に創立五十周年記念行事に就き、多数の同窓生より物心両面に涉り多大な協力が寄せられた事に謝辞が述べられた。島田事務局長を議長に選出、議事が進められました。

一、平成六年度事業報告及び決算報告の件

二、平成七年度事業計画及び予算案の件

三、創立五十周年記念行事特別報告

四、同窓会会員名簿編集の件

五、清里寮運営委員会特別報告

各議案の詳細は別紙を参照して下さい。
「本年度の事業計画中最最大のイベントであった、創立五十周年記念行事は滞りなく、無事に終らせる事が出来た。今秋発行を予定している同窓会々員名簿の編集に力を注いで行きたい。」と事務局より報告があった。

また周年行事に関する作業が一段落したことにより、今後は財団法人「清陵会」の設立を軸に同窓会活動を進めて行く事を決議した。

代議員より「総会出席者数を増やす方策を」との提案があり、役員会等で具体策を検討して行く事として閉会した。



年間行事

同窓会が関係する年間行事です。同窓生の積極的な参加を心よりお待ちしております。

◎ 四月 第四土・日曜日

清里寮開寮祭

◎ 六月 第一日曜日

代議員総会

◎ 十月 第四土・日曜日

清里寮紅葉祭

◎ 十一月 三日(祝)

中工祭

◎ 一月 最終土曜日

新春交歓会

右記の日程にて計画しておりますが諸般の事情により変更する場合がございます。他にも色々な行事を催しておりますので、詳しい事は、事務局までお問い合わせ下さい。



久保村昭衛同窓会長 小林一夫 校長 土屋正夫 元校長

創立50周年記念式典

6月3日（土）、母校の創立50周年記念行事が挙行された。
 記念式典が中野ゼロホールにて行なわれ、
 来賓、同窓生、教職員等 840名余りが出席した。
 来賓の方々の祝辞の後、在校生の有志で編成された合唱団が式典を盛り上げた。
 午後は、祝賀会が新宿小田急ハルクで催され、同窓会長の挨拶の後、
 歴代校長による鏡割りから歓談に入り、
 会場内で同期の者と盛り上がる方々、先輩後輩で和やかな話をする者、
 恩師と在学当時の話に耽る者など、楽しいひと時を過ごしていた。

祝賀



歴代校長による鏡割り

式典



校長 式辞



記念演奏 中工混声合唱団 庄巻“涙をこえて”の熱唱



式典 全景



生徒代表祝辞



式典会場入口にて 野崎文部事務次官と同窓会々長



市川 正 都教育委員会教育長の祝辞



野崎 弘 文部事務次官の祝辞



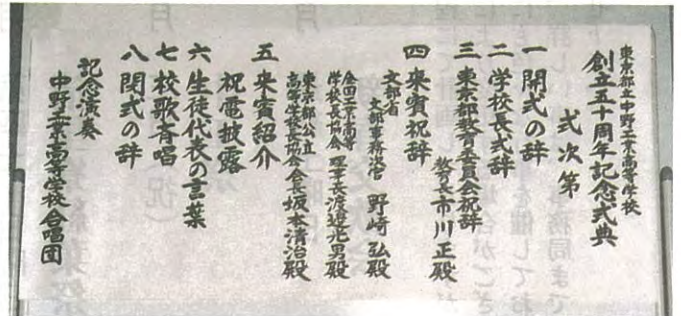
50周年記念誌



50周年記念品



壇上の来賓



★写真提供 松崎幹哉（16M）・小林徹三郎（18F）・他

学科改編実施

三年目を迎えて



論 賀 文 博
教 大

「光陰矢の如し」歳月が流れるのは速いものです。今までの三科を総合技術科の一科とし、四類型、六コースの制度で教育が進められ、三年目に入りました。今年が完成年度に当たります。東京都も初めての改編で、勿論、本校も初体験でありました。現在の三年生は六コースで六クラスあります。一年生の終りにコース分けを行いました。類型選択委員会が作業に当たっては、誠心誠意、生徒を六コースへコース分けに当たりました。生徒の中には理解せず、不本意なところがあったようです。特に、基礎工学系（進学）では、進学を真剣に考える生徒がより多く希望することが望ましいようです。この二年間、三年年の担任の方々は必死に進学コースの生徒に対して、進学の意識を高揚させるため色々努力をされてきました。

今年の二年生はこのコースの選択で

それなりの意識を持って学習に励んでいるようです。現実の課題として進学コースへ進んだ生徒は普通教科の選択で勉強に取り組んでいるようですが、二コース合併で授業を行なう教科の先生方の大変さ、選択により使用する教室の確保等、種々な課題が山積みしております。これらの解決が急務のようです。

工業に関する教科においては、それぞれ各コースごとに特色のある授業が展開され、生徒に興味、関心を高め、学習活動が盛んになる指導となっているようです。

しかし、生徒の一部には選択したコースが自分の希望通りでなく、授業内容がこんなはずでなく、授業がつまらないという意見もあるようです。やはりコース分けが極めて大切で、いかに勉強に対する意欲をかりたてるかが当面の大きな課題のようです。

コース分けに対して、委員会が中心となり生徒の希望を優先し、適性、特性を十分考慮し、面談等を行ないコース決定をしているところです。

今年の一年生にとっても、三年間の高校生活に心のゆとりが持て、充実した学習活動に邁進でき、学科改編の素晴らしい効果が発揮されるものと確信しております。

一連の学科改編が中工の将来の発展に役立つことを期待しております。

（大賀先生は、総合技術科化学類型を担当されています。）

創立五十周年 記念行事に参加して



5 M
澤 谷 周 治

平成七年六月三日（土）午前十時、定刻に中野ゼロホールにて厳かな内に式典が執り行なわれました。

文部省事務次官を初め全国工業高等学校長会、東京都公立高等学校長協会、事務局長、東京都教育長等多数の参列者を迎え、盛大に執り行なわれました。我が同窓会は、久保村会長以下六十数名が参列しました。

式辞の中で私が感激したのは、東京都公立高等学校長協会々長・都立両国高等学校長の《牛》と題するお話しであります。生徒達も真剣な眼差しで聞いていました。休憩の後、工業高校では珍しいコーラスの合唱である。壇上で指揮をとるのは教頭先生でありました。男女約四十名の生徒が歌うハーモニイはすばらしかった。五十周年の記念行事を否が応でも盛り上げ、最後は盛大な拍手を以て終幕となりました。続いて午後一時三十分より、新宿小

田急ハルク8階の中華料理店《豪華》に於て、祝賀会が催され、こちらも約三百名の出席者で賑わい、同窓会では多数の飛び入り者が出て一層盛り上がりしました。

教職員、PTA、PTAOB、同窓会と四者がひとつの目的に向かいそれぞれの立場で、約二年半の年月をかけ、二十回近い会合を持ち、意見をかわし原案を作成したものが今日花を咲かせました。五十周年記念行事実行委員の私は何もお手伝い出来ず、他の委員の方々にご迷惑をおかけしましたことを、この紙面を借りて謝りたいと思います。

来賓や、多数の高等学校長を初め、PTA、PTAOB、同窓会、教職員の多数の参列者で会場は賑わいました。終って見て私なりの感想ですが、本

当に実行委員をやり、自分自身も大いなる成果を得たことに感謝すると共に、特に久保村会長、新井、竹井両副会長、島田同窓会事務局長、小池実行委員会事務局長、並びに同窓会事務局の方々のご努力は並大抵では出来ない強い意志の持ち主の方々と推察しております。今後は六十周年に向け、益々都立中野工業高等学校の発展に寄与し、同窓会、PTA、PTAOB会の方々と力を合わせ、微力ではありますが、私も頑張らねばと痛感いたしました。

同窓会々員名簿 作成のお知らせ

母校創立五十周年記念行事の一環として、同窓会々員名簿の発行を準備中です。現在、同窓生の住所確認作業を行なっておりますが、まだまだ充分ではありません。同窓生の消息や住所等、クラス会を開いた時の住所録など、ありましたら同窓会事務局迄お知らせ下さい。また、名簿発行に伴い協賛広告を募集致します。

B5版 一頁、 十万円
B5版 半頁、 五万円
名刺広告一名、 一万円以上

同窓生各位のご協力ご賛同をお願い致します。

◆連絡先

〒176練馬区豊玉南二一八一

TEL〇三―三九二―五〇七五

島田勝利

〒177練馬区高野台二一七―二十一 205

TEL〇三―三九〇―四一七二六一

小池邦男

新春交歓会催される

去る一月二十八日(土)に、六本木《瑠玖》に於て、新春交歓会が開かれました。今回で8回目を迎え、回数を重ねるごとに盛り上がりつつまいりました。四年前よりPTA、PTAOBの方々と共催することになり、参加者も多勢になりました。

当日は、四十五名もの方々の出席があり、同窓会長、教頭先生の挨拶の後、和気あいあいの懇談が始まった。創立五十周年記念行事についての話、総合技術科の話題、清里寮のこと等、とても充実した時間を過ごすことができました。



再 会

昭和42年卒 18CB



卒業以来ほとんど集まることになかった仲間が、左巻君を中心とした関係者の努力により、三月十一日(土)の夕刻、池袋西口のロサ会館で集うこととなった。担任の小川幸男先生のもとに、卒業生40名の内22名が参加した(都合により欠席をした5名からもメッセージが寄せられた)。頭が薄くなったり(小生)、白髪がまじったりで、お互い一瞬誰だか判からなかったりしたが、たちまち在学

当時に戻り、なつかしい話と、仕事・家庭にと近況報告に花が咲いた。又、たまに小生が同窓会役員であるので、学校や清里寮の現況及び五十周年記念行事について説明した所、半数以上の方から、五十周年行事への協賛寄附をいただき、感激した次第であった。二次会までの盛り上がりの中で、次回もより多くの参加者で是非開催することとし(清里寮の利用も含め)散会した。記・北村耕作



紅葉に染まる清里寮全景、屋根越しには八ヶ岳が望める。



▲ 和気合い会の清陵祭、カラオケも持ち込まれて・・・。

清里寮開寮祭(清陵祭)

吉例の清陵祭が去る四月二十二日～二十三日に開催された。八年前に寮の運営を同窓会でやる様になったから、毎年四月の下旬に学校関係者と同窓会が集まり、清里寮の発展とお客様の安全を祈り開かれております。

今年は参加希望者が多数有り、ご希望に添えない方も出てしまいました。その様な方でも、二十三日に日帰りで参加下さり、とてもにぎやかな清陵祭にする事ができました。

中工清里寮は、在校生や同窓生、あるいは学校関係者以外の方でも、関係者等の紹介があれば、ご利用できますので、子供会やサークル活動等でも清里寮をご利用下さい。

—利用料金は—

1泊2食付き

- 大人(18才以上)・・・4,500円
- 中人(中・高校生)・・・3,500円
- 小人(小学生以下)・・・2,600円
- 幼児(3才未満)・・・無料(食事なし)

※詳しくは申込時にお問い合わせ下さい。

申し込み方法は—

財団法人 清陵会に申し込む。
 利用希望日の前月一日(休日の場合は翌日)より受付を始める。
 但し夏休み期間中の利用は六月一日より受け付けます。

TEL 〇三―三九九一―六七二三
 事務局 和泉産業(株)内 小池まで
 受付時間 A M 十時より P M 五時まで

THE KIYOSATO

夏

▲ 清泉寮

春

▲ 津金資料館

やまむしの花

秋

▲ 中工清里寮

冬

▲ 清里県営スキー場下からの八ヶ岳

事務局より

海にも山にも、輝くばかりの夏が訪れてきました。そして都会にも。同窓生の皆様いかがお過ごしですか。四年の歳月をかけて準備してまいりました、母校創立五十周年記念行事は、去る六月三日中野ゼロホールで式典が、新宿小田急ハルクで祝賀会が厳粛かつ盛大におこなわれました。学校を中心に、PTA、PTA・OB、同窓会が一体となった取り組みについて、ご来賓の方々から、お誉めの言葉を頂きました。同窓生の皆様のご支援、ご協力にあらためてお礼申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、同窓会活動は年々活発になってまいりました。会の活動の様子や、同窓生同志の情報交換の場として、本会報を発行しております。会報発送費用も多額となってきました。会の活動資金としての同窓会年会費(二千円/年)を同封の振り込み用紙をご利用の上、納入いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

事務局長 島田勝利(7M)

平成七年八月三十一日発行
 東京都立中野工業高等学校
全日制同窓会 会報

〒165 東京都中野区野方三二一五
 TEL 〇三―三三八五―七四四五
 編集 同窓会総務委員会
 発行人 竹井博